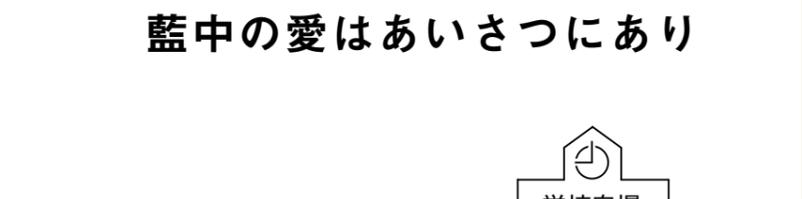
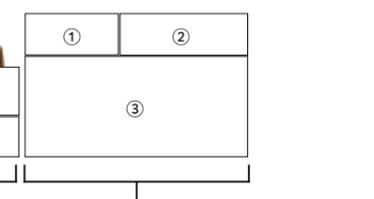
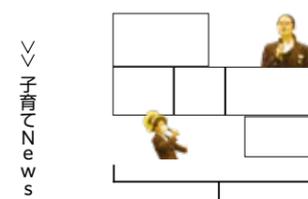




令和2年度の学年  
3年生(旧生徒会)  
この一年思うように行事ができなかったけど、最後にみんなが集まることができ嬉しかったです。ステキな機会をありがとう。



3年生はいつもよかったです。これからは僕たちが藍中の伝統を守っていきます!



### 藍中の愛はあいさつにあり



【3年生を送る会】  
学年を超えて絆の深い藍中生。別れを惜しみながらも笑顔があふれた。

【生徒会の活動】  
① Best Friend  
② 毎朝行うあいさつ運動  
③ 生徒会8人の皆さん



タブレットで撮影したよ!

藍中学校は市西部(大川瀬)に位置し、藍小学校・つじが丘小学校区の子どもたちが通学している。平成3年に開校した本校は創立30周年の節目を迎えた。学校のリーダーとしてさまざまな取り組みに奮闘する生徒会8人に藍中の自慢を聞いた。

**伝統——先輩への恩返し**

2月26日、伝統行事の一つになっている「3年生を送る会」が行われました。企画や準備、そして当日の運営まで、全てを僕たち生徒会に任されています。ずっと一緒に過ごしてきた先輩。テキパキしていてかっこよくて、悩んでいる時にはいつも優しく声をかけてくれました。今までありがとう、これからは私たちに任せてね——感謝の気持ちを伝え、3年生に恩返しをしたい。これまで先輩たちがしてくれたことを思い返しながら、1カ月かけて準備しました。その一つが、3年生に向けたメッセージムービーです。撮影も自分たちで行いました。

3年生に喜んでほしい——その想いで、ダンスを踊ったり、メッセージボードを使ったりいろいろな工夫をしました。テスト勉強や部活動との両立は大変で、ギリギリのスケジュールでしたが、8人で力を合わせて何とか間に合わせることができました。送る会の当日は、1年生から3年生まで全員が集まる最後の機会だったので、みんなが感謝を伝えることができて本当によかったです。

**みんな笑顔でいられる秘けつ**

生徒会でずっと続けている活動があります。友達のこんなところいいなを伝える「Best Friend」。「血が出たとき布とテープをくれたね。自分も困っている人を助けたいです」——全校生徒から届く友達へのメッセージ。月に2回、校内の掲示板に張り出しています。相手に想いを伝えるだけでなく、みんなが分かち合えるのが藍中です。

そして一番の自慢は、全員が自分からあいさつできること! 藍中生が何より大切にしていることです。生徒会でも毎朝交代で校門に立ち「あいさつ運動」を続けています。あいさつをきっかけに、「毎日学校に行くの楽しいな」、みんながそう思える笑顔いっぱい藍中にしたいです。

連載 地域で輝く人に聞く File\_04

## SUN なつと。

ここに住んで34年  
すずかけ台は人が優しいまち

すずかけ台まちづくり協議会  
事務局  
上浦 康弘 さん  
Yasuhiro Kamiura



ラジオ・ハニー-FMでもっと詳しく聴けます!【4/20 15時10分〜】

「ウッドイタワンの入居が始まった年にここに来て34年。すずかけ台について、大概のことは知ってるんじゃないかな」とまちへの愛着と自信をのぞかせるのは、すずかけ台まちづくり協議会(以下、「まち協」)の上浦康弘さん。退職後、平成23年から自治会役員を経て現在までずっとまちづくりに関わる。「知り合いがどんどん増えていくのが分かるんですよ。自分が住むまちで人とあいさつできるって、それだけで嬉しいこと」日々感じる幸せが、長く続いている理由だそう。「コミセンのおじいさんと呼ばれていてね」と話す顔はどこか嬉しそうだ。

活動は多岐にわたる。まちの安全のため、市内で唯一夜間に行っているパトロール。必要な資格も取った。しかし、始めた理由はそれだけではない。今では住民の約5分の1を占める高齢者の活躍の場を作りたかったからだと話す。上浦さんが願うのは、子どもからお年寄りまで、ここに住むみんなの幸せだ。3年前からは、貴志地区とさらに交流を深め、貴志のまつりに子どもも大人も神輿をかついで参加する。今ではみんなの楽しみになった。他にも、農産部と交流し、地元産野菜を紹介するなど、三田ならではの魅力を届ける。「このまちは全国各地からみんなが集まって出来たまち。地縁も伝

統も歴史もなかった。だからこそ、みんながふるさとと思えるまちにしたい」と日々活動を広げる。

「まち協は一つの団体や個人ではできないことを力を合わせて実現するための集まり。みんな知恵を出し合い、当然のように助け合っています。会はずも賑やか。学校も毎回参加するなど、人の結びつきが強いですね」と上浦さんの口からは、気持ちを共にする人々への感謝と敬意があふれる。

「すずかけ台に住みたいってよく声をかけられます。ここは、人が優しいところだからね」と誇らしげに話す上浦さんの笑顔に、このまちに住む人が築いてきた34年が詰まっている。



すずかけ台まち協「個人ボランティア」で広報誌を作成  
会澤睦月さん(写真中央)

PTAでまち協に関わり、「子は宝」と活動する皆さんの姿に感激。「こんなすずかけ台のことを知ってほしい」と、まち協広報誌の作成をお手伝いすることに。それでも育児で積極的に関われない申し訳なさに「無理なくていい。現役時代ばかりもそうだったよ」と心を理解してくれる上浦さん。ここは安心感の中で過ごせる優しいまちですね。